

WIND OF KOBE!

第741号

神戸運輸監理部情報

令和2年1月1日

国土交通省 神戸運輸監理部



今月の監理部情報・目次

- ◆ 世界初となる液化水素運搬船の命名・進水式が行われました! 2
- ◆ 年末年始安全総点検初日に津波避難訓練を行いました 3
- ◆ 児童自立支援施設「神戸市立若葉学園」の中学生が神戸港で体験学習 4
- ◆ 倉庫業の新規登録 6
- ◆ 倉庫業の変更登録 6
- ◆ 旅客不定期航路事業の許可について 7
- ◆ 管内新造船手持ち工事量 8
- ◆ 船員職業紹介状況 9
- ◆ 主要業務指標 10
- ◆ 1月の行事予定 11
- ◆ 12月の記者発表状況 12

フォトミュージアム

2019年12月6日～15日

神戸ルミナリエが
開催されました📍

サブタイトル「WIND
OF KOBE!」は、湧き起
こる風の清新さをイメー
ジしています

神戸運輸監理部 総務課編集

◆ 世界初となる液化水素運搬船の命名・進水式が行われました！



令和元年12月11日（水）、川崎重工業（株）川崎重工業（株）神戸工場において、世界初となる液化水素運搬船の命名・進水式が行われました。

会場に到着し、神戸市消防音楽隊の演奏を聴きながら、開始時刻を待っていると、場内アナウンスにより本船の説明があり、いよいよ命名・進水式の始まりです。まず、船主により「すいそ ふろんていあ」と命名されました。その後、大きな音を響かせながら、安全装置が取り外され、進水準備が完了。いよいよ、進水です。船主による支綱切断と共にファンファーレが鳴り響き、約4千人の

見物客に見送られながら、レールをゆっくりと滑り、無事に着水しました。今後は、貯蔵タンクの搭載などの艤装工事を経て2020年秋に竣工する予定です。

「すいそ ふろんていあ」は、全長116メートル、幅19メートル、総トン数約8000トンの世界で初めて建造される液化水素運搬船です。約1,250立方メートルの液化水素を運搬することができ、オーストラリアで採掘される褐炭から液化水素を生成し、神戸まで運ぶ実証事業に使用されます。

液化水素は、水素ガスを -253°C まで冷やすことによって液体にしたもので、気体から液体に変化することによってその体積を800分の1にまで減らすことができるため、運搬効率が飛躍的に向上します。また、液化水素は蒸発しやすい性質のため温度管理が難しく、その貯蔵タンクには真空断熱二重殻構造を採用するなど、高い技術力が施されています。

水素は燃焼時に二酸化炭素などの温室効果ガスが発生しないため、地球温暖化の抑止になると考えられ、次世代エネルギーの一つとして注目されています。また、その原料となる褐炭は、今まで低品位なものとして扱われてきた石炭の一種です。世界の石炭埋蔵量の約半分を占めるとされていますが、空気に触れると自然発火する恐れがあるため、あまり利用されていない資源です。



「すいそ ふろんていあ」が使用されるこの実証事業は、川崎重工業（株）他で構成される技術研究組合 CO₂フリー水素サプライチェーン推進機構（HySTRA）の取り組みです。石油・天然ガスと同じように水素が一般的に利用される「水素社会」の実現に向けて2030年頃の商用化を目指しています。

（海事振興部 船舶産業課）

◆年末年始安全総点検初日に津波避難訓練を行いました

年末年始安全総点検の初日に、神戸旅客船協会と神戸運輸監理部では、(株)神戸クルーザーのレストラン船「コンチェルト」において、外国人も参加して、約100人態勢で津波避難訓練を行いました。

現在、南海トラフ巨大地震対策の一つとして、訪日外国人旅行者の避難誘導が検討されています。地震発生から津波が到達するまでに、旅客を安心して安全な場所に避難させるため、神戸市及び一般財団法人神戸観光局などの協力のもと外国人も参加し、日本語・英語に加え、中国語・韓国語も交えた訓練を行いました。

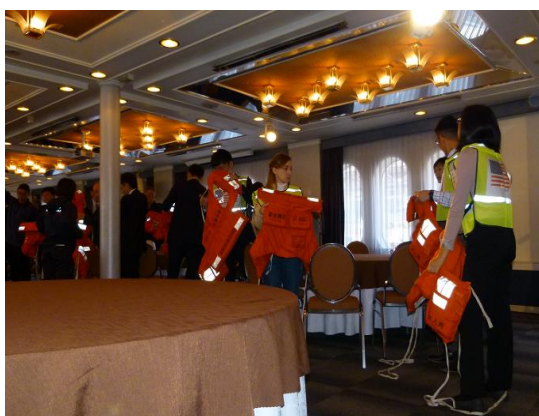


乗組員が旅客に救命胴衣の着用を説明

この訓練は、「コンチェルト」が多数の乗客を乗せて遊覧を終え帰港直前に南海トラフ巨大地震が高知県室戸岬沖で発生し、津波警報が発令されたという想定で行いました。帰港するか、安全な海域に避難するかと言う船長の判断を1つの訓練とし、さらに、旅客が不安を起こさないようパニックコントロール・救命胴衣の着用指示などの避難準備・外国人を含む乗客を陸上の安全な場所に避難させるまでの訓練を行いました。神戸市の防災スピーカーから津波警報が流れ、乗客役及び関係者は真剣な表情で取り組んでいました。

今回の訓練では、現在起こっていることは何かを知ってもらうため、船内放送に加えて、参加者全員にブリッジと陸上の連絡の内容などすべての会話を会場内全体に聞こえるよう工夫しました。

今後も、このような訓練を通して、旅客運送事業に携わる方々の安全意識の更なる高揚と、今後巨大地震が想定されることに備え、さらに訓練を重ねていきます。



船外に避難するため整列



陸上の安全な場所に誘導

(海上安全環境部 運航労務監理官)

◆ 児童自立支援施設「神戸市立若葉学園」の中学生が神戸港で体験学習

令和元年12月16日（月）、神戸市垂水区の児童自立支援施設「神戸市立若葉学園」の中学生を対象に、神戸港において船員という職業を知るための体験学習を行いました。

児童自立支援施設というのは、家庭、学校、地域社会の中でうまく適応できず、行動の乱れや性格上の悩みを抱えた児童（18歳未満）を保護し、一般の小中学校と同様に教育を行いながら寮で共同生活をし、卒園後には自立して生きていけるように心身の健全な成長発達を育成することを目的とした施設です。

そうした状況にある子どもたちにとって、船員という職業は職住一体で経済的な面でもメリットがあり自立しやすいと考えられることから、国土交通省神戸運輸監理部、公益財団法人日本海事広報協会、公益社団法人神戸海事広報協会の3者共催により、取り組みを企画しました。

体験学習は、神戸港に接岸中の独立行政法人海技教育機構の練習船「銀河丸」の船内見学と、中学卒業後に商船高専に進学し寮生活しながら船員になった者の「体験講話」をセットにしたもので、送迎バスをチャーターして学園の中学生18名だけでなく先生8名も招いて行いました。

「銀河丸」では、男子女子それぞれのグループに分かれ、操舵室、機関室、居室、食堂等船内を約2時間かけて見学です。操舵室では、双眼鏡を初めて手にしたのか「めっちゃ大きく見える」とみんな大はしゃぎ。レーダー等による監視とともに、実際に目で見る見張りが重要であることを学びました。次に、実習用に使っている操船シミュレーターを動かし操舵体験をしました。車のよう

にすぐに向きが変わらず、右に左に悪戦苦闘。友達から「ぶつかる～」と声を掛けられます。機関室では、消防用ポンプや船の機器類の動力源となっている発動機の始動・停止を体験。圧縮空気の具合を確認し始動ボタンを押すと「ボボンボンボン」と動き出した爆音に思わず耳を塞ぎ、大きな機械を自分の手によって動かすダイナミックさを実感しました。船内見学を終えての質疑応答・意見交換では、乗組員から給料は陸上に比較すると良いし、今日の昼はうな重で夜はステーキと聞いて、「えーっ、メッチャいいやん」と一斉にざわつきました。先生からもどうしたら船員になれるのかとの質問もあり、船員と言う職業への関心が一気に深まったと思います。



双眼鏡をのぞく生徒たち



船の操船体験をする女子中学生



消防ポンプの作動状態を
見る生徒たち



体験講話を聞く生徒と先生たち

「体験講話」は、神戸運輸監理部の会議室に移動して、神戸港の遊覧船の機関長として働き、現在は一般財団法人日本船舶職員養成協会近畿にて小型船舶免状の取得を目指す者を育成指導している宮地斎（みやじいつき）教員が、中学卒業後に広島県の弓削商船高専に進学し、寮生活をしながら学び、船員の道に進んだ体験を話しました。商船高専での授業や実習船による航海体験の様子だけでなく、入学金・授業料や寮費・食費等の生活費を含めた一切合切の費用、それを補うための奨学金制度の活用と返済、休日休暇を利用して行ったアルバイトのこと、自身を含めて現在内航・外航の船員

として活躍している同級生の様子などについて、スライド画像を用いながらわかりやすく説明しました。時間の関係から質疑応答・意見交換をする機会がとれなかったことが残念ですが、中学生及び先生たちにとって中学卒業後に自立しながら船員と言う職業に向かう道しるべとなる貴重な実例であり、大変参考になったと思います。

今回、子どもたちの自立支援と内航業界の若年船員確保対策をウインウインの形で取り組みにしたのでは初めてのことであり、これからも子供たちに海や船の仕事を考えてもらえるきっかけづくりを工夫しながら広めていきたいと思っています。

最後に、体験講話で音楽にのせてスクリーンに流された宮地氏からの「君たちへのメッセージ」の一部を紹介します。

つらいこと、いやなこと、やめたいと思ったことも何度もあるけれど、
それ以上に楽しいこと、やりがいもある船乗りの生き方はどうかな～
自分の目で見て、自分で判断して、自分で責任をとれるように成長してほしい
私はみなさんを応援します！

（海事振興部 船員労政課）

◆ 倉庫業の新規登録（令和元年11月）

【事業者名】 姫路港運株式会社

所在地	兵庫県姫路市飾磨区細江1307番地			代表者	代表取締役社長 中村 滋彦
倉庫の概要	倉庫の名称	中島3号上屋			
	類 別	一類倉庫	位 置	姫路市飾磨区中島字川尻新田上3238番	
	構 造	鉄骨造、ガルバリウム鋼板張、ガルバリウム鋼板折板葺、平屋建 (準耐火建築物)			
	面 積	1,004㎡	登録年月日	令和元年11月26日	

◆ 倉庫業の変更登録（新設）（令和元年11月）

【事業者名】 寿冷蔵株式会社

所在地	兵庫県尼崎市東灘波町1-5-29		代表者	代表取締役 三宅 裕之	
倉庫の概要	倉庫の名称	尼崎南DC自動倉庫			
	類 別	冷蔵倉庫(F1)	位 置	尼崎市元浜町1丁目78番1号	
	構 造	鉄骨造、ガルバリウム角波鋼板張、ガルバリウム鋼板葺、2階建 (準耐火建築物)			
	面 積	20,308㎡	登録年月日	令和元年11月6日	
倉庫の概要	倉庫の名称	尼崎南DC自動倉庫			
	類 別	冷蔵倉庫(C3)	位 置	尼崎市元浜町1丁目78番1号	
	構 造	鉄骨造、ガルバリウム角波鋼板張、ガルバリウム鋼板葺、2階建 (準耐火建築物)			
	面 積	5,190㎡	登録年月日	令和元年11月6日	

【事業者名】 弘由ロジスティックス株式会社

所在地	兵庫県神戸市西区岩岡町野中宇内山2番地の1			代表者	代表取締役社長 下副田 弘文
倉庫の概要	倉庫の名称	危険品倉庫N02			
	類 別	危険品倉庫	位 置	加古郡稲美町蛸草字上篠1-10	
	構 造	鉄骨造、ALC板張、ガルバリウム鋼板折板葺、平屋建(準耐火建築物)			
	面 積	709㎡	登録年月日	令和元年11月7日	

【 事業者名 】 鈴与株式会社

所在地	静岡県静岡市清水区入船町11番1号	代表者	代表取締役社長 鈴木 健一郎
倉庫の概要	倉庫の名称	鈴与株式会社西宮物流センター危険品倉庫	
	類 別	危険品倉庫	位 置 西宮市西宮浜一丁目2番
	構 造	鉄骨造、カラー角波鉄板張、ガルバリウム鋼板ルーフデッキ葺、平屋建	
	面 積	9㎡	登録年月日 令和元年11月21日

【 事業者名 】 株式会社MTKロジイノベーション

所在地	大阪府大阪市生野区巽西1-9-26	代表者	代表取締役 関 武士
倉庫の概要	倉庫の名称	株式会社MTKロジイノベーション西宮センター	
	類 別	一類倉庫	位 置 西宮市鳴尾浜一丁目3番地11
	構 造	鉄骨鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造、一部鉄筋コンクリート造、6階建（耐火建築物）	
	面 積	2,261㎡	登録年月日 令和元年11月21日

【 事業者名 】 株式会社三鷹倉庫

所在地	大阪府大阪市生野区巽西1-9-26	代表者	代表取締役 関 武士
倉庫の概要	倉庫の名称	株式会社三鷹倉庫 西宮センター	
	類 別	一類倉庫	位 置 西宮市鳴尾浜一丁目3番地11
	構 造	鉄骨鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造、一部鉄筋コンクリート造、6階建（耐火建築物）	
	面 積	19,916㎡	登録年月日 令和元年11月29日

◆ 旅客不定期航路事業の許可について

事業者名	壱岐・対馬フェリー株式会社 長崎県壱岐市芦辺町箱崎大左右触 508 番地 6
航 路	阪神港（神戸区）内周遊（神戸不第 5 5 0 号）
許 可 日	令和元年 1 2 月 1 7 日

（海事振興部 旅客課）

◆ 管内新造船手持ち工事量

令和元年１１月末現在

区 分		隻 数	総トン数	載貨重量トン数
国内船	工事中	1	8,000	2,000
	未起工	0	0	0
輸出船	工事中	0	0	0
	未起工	0	0	0
工 事 中 計		1	8,000	2,000
未 起 工 計		0	0	0
手持ち工事量合計		1	8,000	2,000
前年同月比		-	-	-

(注) ①総トン数2,500トン以上又は長さ90メートル以上の一般商船（旅客船を除く）で、建造着手予定届が提出された船舶もしくは臨時船舶建造調整法に基づく建造許可を受けた船舶を対象とする。

②[内訳] その他（液化水素運搬船） 1 隻

（海事振興部 船舶産業課）

◆ 船員職業紹介状況（令和元年 1 1 月）

最近 3 か月間の船員職業紹介実績表

（単位：人）

区 分	月 別	令和元年	令和元年	令和元年
		9 月	1 0 月	1 1 月
合 計	求 人 数	1 4	2 3	2 8
	求 職 数	1 7	1 3	1 1
	求 職 者 成 立 数	3	3	1
外 航 船	求 人 数	0	0	0
	求 職 数	0	0	0
	求 職 者 成 立 数	0	0	0
内 航 船 （旅客船を含む）	求 人 数	1 3	2 1	2 6
	求 職 数	1 4	8	1 0
	求 職 者 成 立 数	2	2	1
その他船舶 （曳船・作業船等）	求 人 数	1	2	1
	求 職 数	3	3	1
	求 職 者 成 立 数	1	1	0
漁 船	求 人 数	0	0	1
	求 職 数	0	2	0
	求 職 者 成 立 数	0	0	0
有効求人倍率（倍）		1. 5 7	1. 8 8	1. 6 0

最近 3 か月間の船員の失業給付金支給実績

区 分	月 別	令和元年	令和元年	令和元年
		9 月	1 0 月	1 1 月
失業給付金受給者実数（人）		5	2	5
失業給付金支給額（千円）		1, 6 5 7	6 5 9	5 8 5

※失業給付金受給者実数とは、当月中に失業給付金を支給した者の実数である。

（海事振興部 船員労政課）

◆ 主要業務指標

(令和元年 1 2 月)

			実 績	前年同月比
1. 管内発着フェリー・旅客船方面別輸送量 (令和元年１０月分)	九 州 方 面	旅 客	４０，０５４人	９５．４％
		車 両	３１，０９１台	９０．８％
	淡路四国 方 面	旅 客	９８，０１６人	９４．５％
		車 両	２１，０９３台	８５．９％
2. 神戸港起点遊覧船乗船者数 (令和元年１０月分)	総 数		４７，１３５人	９４．３％
	内：レストランシップ [°]		２５，１１０人	９３．３％
3. 神戸港内貿貨物量【速報値】 (令和元年８月分)	純 内 貿 貨 物 量 (フェリー貨物除く)		５２４千 ^ト	８８．７％
	中 継 貨 物 量		５４６千 ^ト	９３．４％
4. 神戸港コンテナ船入港隻（令和元年８月分）			３３４隻	９９．７％
5. 神戸港外貿コンテナ貨物取扱量【速報値】 (令和元年８月分)	総 量		１７２，１８８TEU	９２．１％
	内：トランシップ [°] 貨 物		７４３TEU	１０９．３％
	内：内航フィーダ [°] 貨 物		２１，９６８TEU	９２．１％
6. 神戸港港湾労働者数【速報値】 (令和元年１１月末現在)	総 数		５，５０６人	９９．４％
	内：船 内		１，１７１人	９７．４％
	内：沿 岸		３，４８１人	９９．５％
7. 神戸市内倉庫貨物入庫量 (令和元年１０月分)	普 通 倉 庫		４５６千 ^ト	９２．０％
	冷 蔵 倉 庫		９２千 ^ト	８９．９％
8. 神戸市内倉庫貨物保管残高 (令和元年１０月分)	普 通 倉 庫		９３７千 ^ト	９６．６％
	冷 蔵 倉 庫		１７６千 ^ト	１０３．０％

(注) ① 3. の中継貨物量は、神戸港輸入貨物を国内他港へ移出したものと及び神戸港輸出貨物で国内他港から移入したものである。

② 5. のトランシップ貨物は、外航船で輸送して来た貨物を神戸港で他の外航船に積み替えて輸送したものである。

③ 5. の内航フィーダ貨物は、神戸港で取り扱った外貿コンテナのうち、国内他港に移出したものと及び国内他港から移入したものである。

④ 3. 4. 5. の資料出所は、神戸市みなと総局であり、6. の資料出所は、神戸公共職業安定所神戸港労働出張所である。

⑤ 7. 8. の資料出所は、兵庫県倉庫協会及び兵庫県冷蔵倉庫協会である。

(総務企画部企画課、海事振興部旅客課、貨物・港運課)

◆ 1月の行事予定

日 程	行 事 / 場 所	担 当 課
17 日 (金)	交通環境教育プログラム / (株)上組本社工場	企画推進本部 交通環境室
21 日 (火)	安全運航講習会 / 海技大学校	海上安全環境部調整官
14 日 (火)	近畿地方交通審議会神戸船員部会 / 神戸第2地方合同庁舎	海事振興部 船員労政課

(総務企画部 総務課)

◆ 12月の記者発表状況

日程	発表事項	担当部課
4日	路線バス事業者に対する文書警告について	兵庫陸運部 監査部門
6日	海運会社の担当者が高校教壇で熱弁します ～将来の海上輸送の安定と若手人材を求めて出前授業～	海事振興部
6日	船の乗組員が海運や港の大切さ、役割を教えた ～神戸市内の小学校で出前授業～	海事振興部
11日	海運事業者62社が若年船員を求めて企業説明会 ～若年層の定着と働き方改革に向けて～	海事振興部 船員労政課
11日	「お手伝いしましょうか」と声をかけられる人になろう！ ～姫路市立船場小学校で初めてバリアフリー教室を開催～	企画推進本部 交通環境室
17日	モノづくりとフネづくりの“最先端”を知ろう ～造船業・船用工業経営技術セミナーを開催します～	海事振興部 船舶産業課
18日	トラックのフェリー利用は引き続き堅調 ～令和元年度上半期の管内旅客船等輸送実績（速報値）～	海事振興部 旅客課
20日	貨物船乗組員の労働環境を知って進路選択へ ～地元海運会社が若手人材を求めて出前授業～	海事振興部
26日	自立支援施設の中学生在が体験学習 ～将来の道しるべに 船内見学＆船員体験講話～	海事振興部

（総務企画部 広報対策官）

謹賀新年

あけましておめでとうございます。
本年もよろしくお願いいたします！



神戸運輸監理部マスコットキャラクター

「こうべえ」